

くという考えに立つて進め
ていかなければいけないの
ではないかと考えている。

子どもの医療費給付 制度の改善を求めて

議員 次代を担う子どもたちの命と健康を守ると同時に、この町で若者たちが安心して子育てできるように、若者人口を増やす対策としても既に全国で試され

済みの施策が、子どもの医療費の助成制度である。県下では半分以上の自治体が中学校卒業までとしている。来年度、子どもの医療費の助成制度を改善して、この対象年齢の引き上げをすべきと考えるがどうか。

市長 子育て世帯の子どもの医療費の不安をなくし、病気の早期発見・早期治療を図るため、そして、少子化対策の大きな政策課題として取り組むよう、この制度の充実・強化に向けて国や県へ要望していきたいと思つて

また、子どもの医療費の無料化だけでなく、子育て支援については、いろいろな施策がある。限られた財源の中、市政全般の運営において子育て支援が充実するよう、施策を展開していくといふと思つて

議員 この制度を改善していかなければならぬと感じているのか。周辺自治体との格差をどう考えるのか。

市長 少子化対策というのは、国策として国がしっかりとやつていくべきだと思う。子どもの医療費の無料化と

島の定住促進対策として、今住んでいる島民の生活環境を充実させていくこと、陸地部との格差を是正していくことが非常に大切である。

このため、平成24年度末で期限を迎える現行の離島振興法の延長はもちろん、離島での常勤医の確保や介護環境の整備など、離島の実情に応じた施策が展開できるよう、抜本的な改正を国へ要望することにしてい

市長就任後3期目3年を経過しての評価と3期目最終年度の取り組みについて

式による選択と集中による予算編成方針としているのか。枠を超えた予算編成は考えたことはないのか。

市長 枠配分方式のよい点は、一般財源を各部署に配分することにより、予算要求までに、各部長を中心に持ちながら、各部署で無駄を洗い出し、必要な施策を練り上げていく予算編成の過程を形成できる点である。

また、枠配分方式のほかに、政策・重点化枠を設け、部の枠を超えて予算を確保できることとしている。

今後も予算編成に当たっては、市民の声を十分に反映し、必要な施策に必要な予算がきちんと配分できるよう、さらに改善・改良を加えながら、予算編成をしていきたいと思っている。

教育行政について

議員 教育長の教育理念に基づく教育のあるべき姿をたずねる。

教育長 平成22年度重点施

策の中で、夢・目標を持つたくましく生きる子どもを育てる学校教育の推進を掲げている。将来の夢や目標を持ち、自信を持つてその実現に向かつて努力しようとする意欲や態度の醸成が大変重要と考えている。

誘致を積極的に推進できなかつた構想を発表するものと考えられるが、この構想案の重点プロジェクトの中でも「メガソーラー」の戦略的誘致については、干拓地の農地以外の遊休地を提案している。また、「新エネリギー関連等の企業誘致」については、バイオエタノールやバイオディーゼルの取り組みにおいて活用させていただく予定である。

市長 岡山県は、今後、決

笠岡市議会 維新の会

質問者
メンバー

予算編成について

議員 市長はなぜ枠配分方

笠岡湾干拓地の活性化について

議員 おかげま新エネルギー

化について